



2021年9月8日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

Audi connect plug and play

より多くのアウディオーターに Audi connect を

- 2008年以後の Audi connect 非搭載車で Audi connect plug and play 利用可能
- 車両診断機カブラーに「データプラグ」を接続し、スマートフォンで各種データを閲覧可能

アウディ ジャパン（本社：東京都品川区、代表取締役社長：マティアス シェーパース）では、2013年にネットワークと車を結ぶテレマティックサービス Audi connect を導入し、“SOS コール”など多くの機能でお客様に安心をお届けしてきました。そして、2008年以後の Audi connect 非搭載車両*でも、Audi connect の車両状態や駐車位置確認、燃費記録などの一部機能を利用可能とする『Audi connect plug and play』をリリース、専用データプラグを全国のアウディ正規販売店（124 店舗、現時点）を通じてこのたび発売しました。

Audi connect plug and play は、車載診断機からの情報を、専用データプラグ（税込価格：6,050 円）とBluetooth通信を介して、オーナーのスマートフォンに転送することで機能します。スマートフォンには Audi connect plug and play のアプリがインストールされ、myAudi アカウントでログインしていることが必要です。

Audi connect plug and play が扱うことのできる情報は、走行距離や車台番号、燃料レベル、整備タイミンといった基本的な車両情報から、起点・終点・距離などのドライブ情報や燃費、そしてそのドライブの統計情報、駐車情報などです。燃費記録は、再給油を車が検知すると、スマートフォンにポップアップ表示があるなど、利便性も考慮されており、統計情報では、エンジン回転数、スピード、ブレーキ、冷却水温度などを記録し、ドライビングスタイルがどのように燃費に影響するかを判定することができます。

駐車情報では、エンジンオフにした瞬間の位置情報と時間が自動的に記録され、位置情報は他のアプリでシェア可能なので、待ち合わせや、パーキングメーターの残時間の確認などに便利です。

日常的な点検予約を取るため販売店に簡単にコンタクトすることができ、また事故や故障などの緊急事態には、ロードサイドアシスタンスや、アウディコミュニケーションセンターへの電話発信がボタンひとつで可能。警告灯や制御灯について、説明や具体的なヒントも提供します。

ゲーム的な要素としてマイチャレンジがあり、これは効率的な運転や正規代理店訪問、アプリの利用状況に応じてポイントが加算され、ステージが上がっていきます。

* 2008 年以降の Audi connect 非搭載車両、および Audi connect 搭載車で myCarManager 機能を持たない車両が対象です。詳しい対象車種などの情報は、正規ディーラーにお問い合わせいただくか、下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://www.audi.co.jp/jp/web/ja/brand/technology/infotainment/connect/plugandplay.html>